

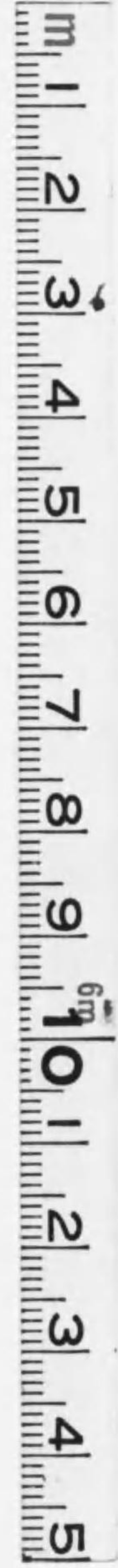
特25↑

南部北海道の景勝

987



北海道景勝地協會



始



特251
987

正誤表

誤	正
1頁下段9行目 地力	地方
3頁上段9行目 水面高く	水面高は
// 10行目 湖岸20軒四	湖岸線20軒四
9頁// 10行目 北國情極	北國情趣
11頁下段10行目 銀沼	金沼
18頁下段5行目 ヌセヌブリ	チセヌブリ
19頁下段12行目 松分追分	松前追分
19頁下段14行目 著名	著名

南部北海道の景勝地

一、大沼公園（道立公園）

一 概要

大沼公園は渡嶋國總田郡七飯村茅部郡森町に亘り、大沼、小沼、葦菜沼の三湖並に其附近の地を含む、公園の總面積四百二十一万五千七百五坪（一、四〇五ヘクタール）その内譯は次の通り。

地目	地種	所有者	備考
公園用地	三三四・九二坪	北海道地方費	
公有水面	二、三四一・六七坪	國	公有水面及堤防敷地ハ國ヨリ無償貸付
堤防敷地	五八三・四二坪	國	
計	四、一五九・〇一五坪		

沿革 明治三十五年函館本線開通し、大沼を過ぎるやその優雅なる風光は忽ち世に喧傳せられ、當時北海道會は之を道立公園として經營するを適當と認め、その公園開設を長官に建議した、同三十七年に至り道會の決議を經、道立公園として、施設を爲すこととなり翌三十八年より堤防敷地中風景最良の地域と之に接續する未開地、嶋嶼四万八千七百七十九坪を公園豫定地として地力費を以て施設を開始し公衆の便を計れり。以來遊覽者の増加につれ施設の發展に迫られ、大正三年林學博士本多靜六氏により實地調査が行はれ、其の提出せられたる大沼公園改良案に基き着々施設を進めるに至つた。次で大正十年大沼、小沼、葦菜沼三湖の水面及びその周圍の堤防敷地を公園目的のもとに國費より使用許可を得て、同十一年管理、取締の規則を



交通の衝に當り、年の利用者十數万を算しつゝあり。特に冬季のスケートは著名である。

管理 公園内には大沼公園事務所があり、書記一名、園丁二名を配し管理する。最近の公園費豫算は大體八千圓となつてゐる。

二 探 勝

省線大沼驛は公園中心部に接してゐて、驛前には賣店、貸ボート店、旅館等並び遊覧に便である。この背後は大沼で水面高く海拔一三〇米、湖岸二〇軒四、最深六米四〇、湖水にはナラ、イタヤ等の美事な瀾葉樹林をもつた小島が散在し、所謂三十二灣、百二十六嶋の大部分が茲にある。特に小沼との接続部セバツト附近に集注してゐて、島々の舟遊、岬から岬への散策等利用の中心をなしてゐる。沼の水は東岸銚子口より折戸川に落ち發電に利用せられてゐる。湖中

大沼公園案内図



制定し、名實共に道立公園として經營、今日に至つた。

施設 公園一帯は駒ヶ岳熔岩の流山の構成する沼澤地であつて駒ヶ岳の雄偉なる山姿を背景とし、嶋嶼、丘阜、半嶋、樹林等配合の妙を得て、精緻なる風景を顯はしてゐる。施設としては歩道、橋梁四阿、腰掛、便所、廣場等あり、尙舟遊の設備完備し、植物園、鹿園、雉園、苗圃等もあり。

の鞍掛の岩は永正十年蝦夷反亂の際松前城將相原周防守秀胤とその二人の美姫の哀話を傳へてゐる。小沼は湖岸線の長さ一六軒二五、最深部は二米三で大沼とは鐵道を挟み一つの水路で連絡されてゐる。兩湖とも鯉、鮒、姫鱒を産する小沼の冬季の採氷は著名である。小沼の東南岸の樹林中には北海道廳の大沼學院があり感化院として經營されてゐる。

蕁菜沼は大沼驛から西方約四軒、湖面の海拔一五六米、湖岸線の長七軒二五、三湖中面積最小である。湖中蕁菜を産することが多く、湖畔國道沿には

明治天皇蕁菜沼御小休所がある。明治十四年九月、北海道御巡幸の際御小休あらせられた處で、玉座は舊家宮崎重兵衛宅を充てさせられた。當時の建物はそのまゝ御膳水と共に聖蹟と

して保存せられてゐる。小沼と尊菜沼との間にある小沼山（一名日暮山）は海拔三〇三米、駒ヶ岳、横津岳、湖水等の大觀に優れ登山するものが多い。

駒ヶ岳の登山口は大沼の東北岸、所謂地獄灣であつて驛より四軒、登山口迄は自動車も通行し得る。湖水を舟で横斷して登山する者も多い、馬の脊迄六軒、焼石原の登りで三時間かかる。尙大沼驛より東方に一七軒、駒ヶ岳の東麓に當り、海岸に面し鹿部温泉があり、温泉旅館三軒、風光に優れ大沼驛より電車、自動車の便があり利用者も多い。

二、惠山

渡島の國龜田郡尻岸内村、根法華村、惠山並に惠山温泉を中心とし惠山岬をも含む、見込面積約八〇〇陌、大部分國有未開地、一部分地方費有林あり。

惠山（エサン）は渡島國の東南端惠山岬に近く聳立する活火山で、魁偉な山容を呈して居る。

惠山附近の地は函館市を去る約六〇軒、然も本道開拓史上に古い歴史を有ちながら、交通不便な僻陬の地に在るが爲めに近頃迄全く閑却されて居つたが、最近交通の異常なる發達を見るに及んで、惠山は一躍本道景勝の一異彩として世に著はるゝに至つた。

惠山は標式的鐘状火山で、今に噴煙を絶たぬ。累々たる岩塊を踏み越へ、黄と白を基調に青と紅の色彩生々しい熔岩丘上に立てば、北は太平洋の煙波遙に後志火山脈の翠黛を望み、其の先は渺茫として雲にけ融入つて居る。顧みれば南、津軽水道を隔て、尻屋岬指呼の間に在り、通ふ小舟の眞帆片帆が入陽に映えて其の美しさ譬ふべくもない。洵に天下の大觀たるに恥ぢぬ。



惠山は海拔低きに係らず奥地高山と相似たる

植物景観たる植物景観を示して居るのは洵に興味深きことである。六月下旬イツツ、ジの満開期は實に美觀を呈し遊覽者多數に上る。又ドームの大部分は石灰華の厚層は覆はれ、世界屈指の珍奇なる火山型式を具備し地質學者の研究の好對象となつて居る。加之山腹、山麓、海岸各所より多量の高温な硫酸鹽類泉が噴出して居るが、惜しむらくは錢龜澤より古武井の町外に向つて描かれた圓弧内一帯の地域は戸井要塞地帯に屬し撮影、スケッチ等を禁ぜられて居る。近時冬季間温泉を足溜にスキー場として利用せらるる様になつた。

遊覽者は漸次其の數を増し、最近一ヶ年千數百名に上つて居る。

交通關係は湯ノ川より尻屋内村古武井迄準地方費道路を通じ乗合自動車が行復して居る。古武井からは徒歩で榎法華村を経て登山するものと、古武井から海岸沿に八軒の根田村を経て登山するものとの二者がある、兩者共に六軒で惠

山温泉に達する。海路は函館港—根田内港間に定期命令航路があつて三日毎に一回運航する。宿泊施設は不完全で僅に各温泉が宿泊し得る程度であり、又附近の古武井、根田内、島泊等も旅館の設備が充分でない。

三、江差及奥尻島

渡島國檜山郡江差町一帯約五〇、〇〇〇陌、及奥尻郡奥尻島全區域に亘り、江差は築山の國有地を除いては殆んど民有地であるが、奥尻は大部分國有地である。

江差町は道南西海岸に位する一要港であつて福山町と共に本道中最も早くから開けた所「江差の春は江戸にもない」との唄の言葉が、暮末鯨漁季に於ける片手千兩、一手万兩の豪勢な繁榮ぶりを物語つてゐる、今は昔のやうな繁榮は見られないが、北海の波のうねりを縫うて旅人の旅愁をそよる纏綿たる江差道分の情緒が物語るやうに、本道過去の文化を忍びにふさわしい



懐古的情趣が街に溢れて、旅人の心を温める。北海道には珍しい白壁の土蔵等が街の家並の間に見られるのも此の地方である。

町の背後には明快な笹山がなだらかな線を描き、海には美しい鷗島がその名の如く浮んでゐる。此の島は現在町有地であつて、その一部分を公園として施設し眺望と散策とに備へてゐる。

名所舊蹟としては蝦夷館、檜山奉行所跡、津輕番所の陣屋跡、碇の流着所があり、傳説には瓶子岩、馬岩、義經の巻物隠

し、辨慶の足跡等があつて、沿革の古い土地だけに訪ふべき所が多い。弘化三年の冬、頼三樹は此處に遊んで次の如く江差八勝を選んでゐる。

篠山曉雪 法花寺晚鐘
 鷗島煙橋 津花夜市
 大淵遊鷗 愛宕觀瀾
 元浦漁火 豊橋涼月

尙江差の近郊四軒餘の所には五厘澤温泉があり、乗合自動車の便がある。

奥尻は江差の西北三十三哩の海上にある緑麗はしい一離島で天氣晴朗の日には江差からも遙かに望見することが出来る。この島も北海道としては早くから開けたところであるが、一時火山の爆發噴火等の爲に人畜の影を没したことがあり、その頃の繁榮を物語る城廓、寺院等の廢

墟は今尙各所に残つてゐる。名所としては、鍋釣岩、賽の河原等があり、島の南端には明治十三年七月畏くも 故有栖川宮威仁親王殿下が、英國支那艦隊旗艦「アイオンジューク」號に御搭乗あらせられ遠洋航海に御出發の途中御遭難遊され此の島に御上陸、村民を指揮して救助作業に御從事遊された此の御高德を偲び奉る徳洋



記念碑が約十七米の中空に聳へてゐる。又字初松前には寛徳年間武田信廣が一時假居したと云ふ城墟も残つてゐる。

現在奥尻は人口五千餘、氣候温暖にして海には魚介豊饒、陸には樹木繁茂して世俗を離れた別天地を形成してゐる。

江差町は直接鐵道による外函館本線本郷驛を距る約六〇軒、道路は模範的な地方費道で、乗合自動車及馬車の便があり、冬は雪原を走る馬櫓の鈴の音に北國情極を味ひ得る。又海路は函館、小樽に至る定期船がある。

町内には十數軒の旅館があつて宿泊設備も整つてゐる。

奥尻は釣懸、青苗、茶津、幌内等の港を有し本土との連絡は定期船によつて居る。

四、洞爺湖及登別温泉

膽振國虻田郡洞爺村、虻田村、有珠郡壯瞥村、幌別郡幌別村にして洞爺湖、有珠山、有珠灣を含む地域に登別、カル、ス兩温泉を含む地域の二つよりなる。大部分國有林なるも洞爺湖畔は民有地多し、見込面積、洞爺湖方面二〇〇〇〇陌、温登別方面五四〇〇〇陌

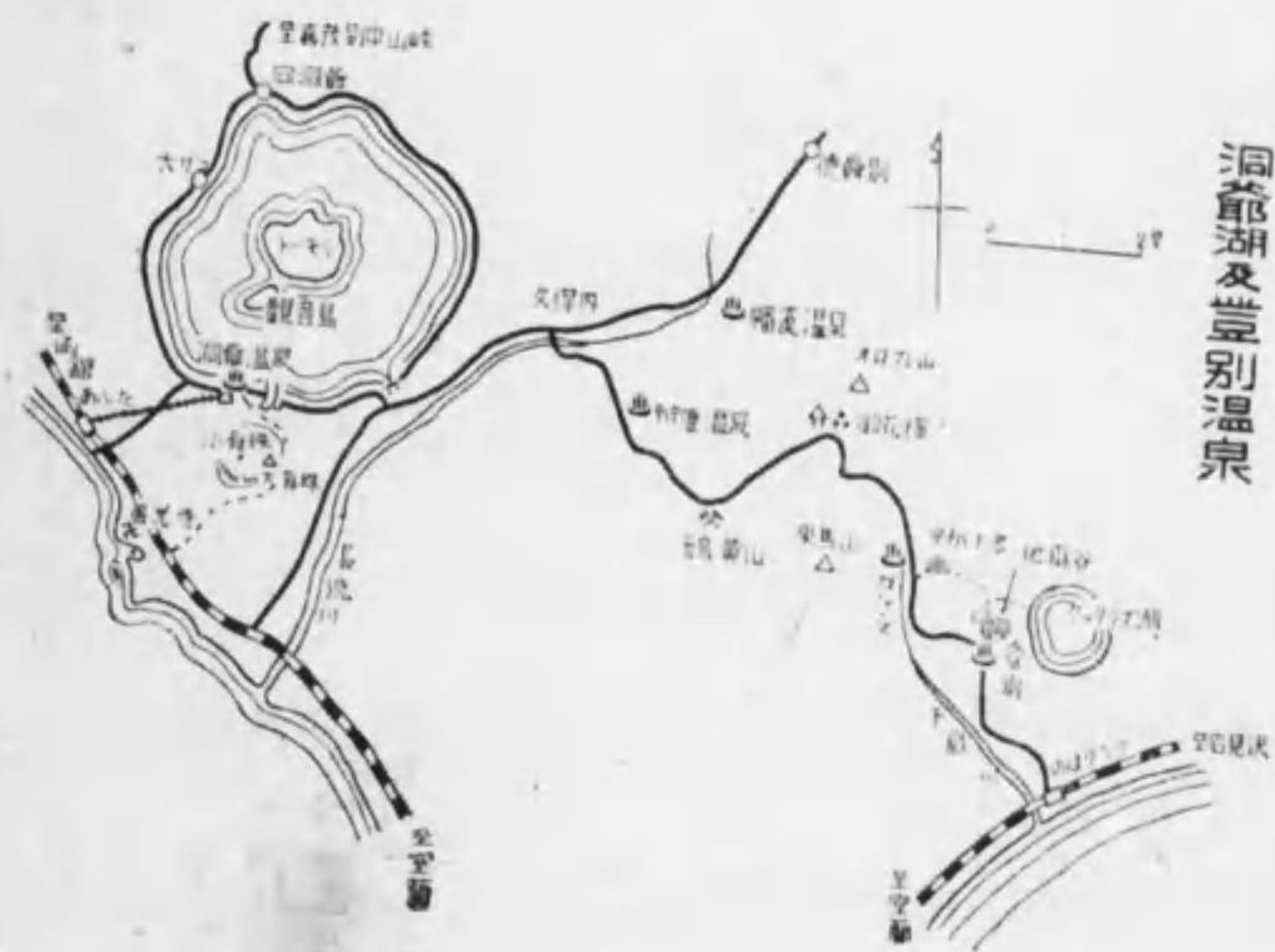
洞爺湖、登別温泉一帯の地域は、支笏湖、大沼と共に内務省當局の國立公園候補地に上げられたる、本道屈指の景勝地域である。

近時洞爺湖、登別温泉連絡の自動車道路完成し、兩者は相合し一大景勝地域としての眞價を發揮するに至つた。

洞爺湖は北海道に於ける最も風光明媚な湖水で、昭和四年室蘭本線の開通により一躍、本邦

有数の観光地となつた。省線虹田驛から洞爺湖電鐵の電車、バスで容易に湖畔に達し得る。湖畔には清澄なる鹽類泉湧出し、温泉旅舎六軒、其他賣店、休憩所等温泉街がつくられ、遊園地別荘、療養所、ゴルフ場まで備はつて居る、湖畔に立てば明鏡の如き湖の中央に翠色滴るばかりの中嶋、観音嶋が浮び、遙かに秀麗なる羊蹄山を望み風光洵に絶佳を極める。

湖水は周圍四三軒、湖水面の標高八五米、最深一八三米の廣大なるカルデラ湖で、湖畔には帶の如く國有保安林が繞りて風致を添へ、カルデラ斜面に開かれた農耕地、小聚落等湖水風景は明快である。中嶋は全山蔭蒼たる落葉潤葉樹の原生林で國有林の禁伐區に屬す。觀音島も同様な美事な森林で、寛永年間圓空上人が鉈作の觀音像を安置したと傳へられ、歩道も開け散策



に適す。此處からは有珠火山の全貌が遺憾なく眺められる。温泉街の對岸は湖畔で一番古い聚落たる向洞爺であつて、驛遷三樹亭には桑、櫻、柃の共生した古奇木がオンコの立派な刈込を持つ庭園の中にあつて一訪に値する。尙附近には浮見堂の勝地もある。

向洞爺—温泉間は自動車及發動機船で連絡され、尙向洞爺から留壽都を経て喜茂別方面に達するバスも出る。

湖水には洞爺湖漁業組合で紅鱒を養殖してゐて、釣魚の楽しみが深い。大小の貸舟、發動機船もあり湖水遊覧は便利である。

湖水の東南方瀧の上は湖水の落口に當り、壯瞥の瀧となり長流川に落ち茲に發電所の取入口が設けられてゐる。

洞爺湖温泉街の背後には明治四十三年有珠山

の噴火に際し生成した丸山があり、茲迄は自動車も登り湖水の好展望地點である。

有珠火山は標式的二重火山でその外輪の中に峙つ大有珠、小有珠の火丘は山容奇觀を呈す、特に大有珠の頂には熔岩が押し上げた河成砂礫層を覆つてゐて、熔岩の裂目からは旺んに噴煙を發して居る。湖水や長流川流域噴火灣の鳥瞰は洵に雄大である。登山路は丸山から外輪に達し、大有珠登山路を分ち、更に南方有珠驛に下る。大有珠、小有珠の間には銀沼があり馬の放牧地となる。

有珠驛附近の有珠灣は岩石、樹林海に迫り風景見る可きものがあると共に、附近の善光寺は北海道一の名刹で寺は淨土宗鎮西派にして、本山は増上寺に屬し阿彌陀如來を奉安して居る。淳和天皇天長年中比叡山の慈覺大師が來りて如

來堂を建立したに創ると謂ふ。文化元年幕府は東蝦夷、奥蝦夷の防備、近海權の確保、島民の安全等を主眼に、日高の等湖院、厚岸の國泰寺と共に建設した山緒の古い寺院である。寺には櫻樹多く花期五月杖を曳くものが多い。

登別温泉はまた北海道温泉中、最も世に著れた名泉で室蘭本線登別驛からバスが連絡する。温泉は登別川の支流紅葉谷の奥に位し、翠巒四圍を繞る山間部の温泉郷で、温泉旅館十三軒、規模廣大なる建物もあり、賣店、商店、料理店等楯比し殷賑を極める。

温泉は鹽類泉、綠礬泉、硫黄泉、鐵鏽泉、ラヂウム泉、カル、ス泉等あらゆる種類の温泉が豊富で特に醫療上著名である。

温泉一帯は寛政十一年幕府の直轄で硫黄採集が行なはれ、安政五年幕府が蝦夷地開拓に際し

武藏本庄の瀧本某を湯守にせしめたのが温泉の開祖であると云ふ。

温泉街の背後は凡て國有林で落葉潤葉樹林を以て覆はれ、そのうち面積三九二陌は登別原生林として大正十三年天然紀念物に指定せられ、本道中南部落葉潤葉樹林の典型的林相が保存されてゐる。泉源をなす地獄谷は俱多樂火山の一つの爆裂火口跡に當り廣い馬蹄形の爛れた環壁の下には大地獄、龍卷、虎地獄、鐵泉池、大砲地獄等々硫氣孔、噴氣孔が活動し、熱泉がたぎる等所謂物凄じ地獄である。附近の谷壁斜面には散策路があり、ヤマウルシ、シラカバ、ナ、カマド、等が美しく茂り地表はイソツ、チ、ガソウランが敷きつめた硫氣植物が發達し、近くに大湯沼、日和山等火山現象の余燼を示す奇象もあり散策に適する。

俱多樂湖は湖岸線七・九軒、最深一四五・五米、圓形の俱多樂火山の小カルデラ湖である。

湖岸に一部私有地があり一軒別荘もある。四圍の森林は荒れて物淋しい、湖水へは地獄谷の奥からもまた温泉街からも直接登ることが出来る。特に後者はカルデラ環壁の四方嶺に達するので展望がよい。

尙温泉附近の名所としては紅葉谷、勝鬨の瀧があるが、登別温泉の眞の探勝は國有林の歩道を利用して、美事な森林中にある靜寂な沼、橋池やカル、ス温泉方面まで及ばなければならぬ、又最近市街に接して休養林が設けられ、多數の利用者を見てゐる。

カル、ス温泉は旅館四軒、外湯であつて閑寂な境地である登別温泉から六軒、自動車の便がある。茲から登別川を遡行し郡界、通稱御花畑

を越へ、洞爺湖に至る自動車道路があり、壯瞥村ベンケ迄延長二三軒九一四、展望闊達理想的觀光道路である。

郡界(御花畑)はオロフレ山の肩に當りヒュツテもあり、オロフレ山、來馬山等の登山やスキーに利用せられてる。また附近は秋の紅葉が美事である。

洞爺、登別温泉を通じ遊覽者四時絶ゆることなく洞爺方面は七万餘、登別方面は年二十万と稱せられる。

五、繪鞆半島

膽振國室蘭市繪鞆半島にして市街の背後に當り、測量山を中心とする區域の大部分國有保安林、國有濱崖地に屬し、唯イタンキ、ゴルフ場、トツカリシヨ民有地を有する。

本地域は繪柄半島の丘陵地にして、全山ナラセン、イタヤ、サハシバ、ヤマハンノキ等の落葉樹林に覆はれ、處々に明快なる笹原山をつらね異彩ある風景である。

測量山は明治五年札幌―室蘭間の道路開鑿に際し米人技師メジロクラークが山頂の樹木を伐つて測量の基點にしたためこの名が起つた。實際山頂に立てば市街や大黒島は勿論、駒ヶ岳から噴火灣、奇峰の有珠山、羊蹄山、樽前山、それに日高の山脈等展望は雄大である。

地球岬よりマスイチ濱に至る海岸は斷崖をなし奇勝に富み、附近にはイタンキのゴルフ場、電信濱の海水湯場、其他八幡神社等探勝箇所は多い。また史蹟名勝天然記念物假指定地としては繪柄遺蹟と南部陣屋跡がある。繪柄遺蹟は半島の西北端附近にあり、先住民の塚等がある。

る。南部陣屋跡は市街の對岸ホロベケレヲタ川河口附近で、安政六年に南部藩の設けた陣屋で當時ロシアの北邊侵略に備へたものである。今日は唯、壘と當時植林された杉の美林が残るのみである。杉林はこれが保存のため保安林に編入されてゐる。

近時測量山には國有林内に自動車道が開設され、市街から山、そして海岸へと探勝は容易で市民の理想的休養地とし、また市の重要な装景として、注目せられてゐる。市民以外の探勝者も外くその數一万餘を算せられる。港内又は電信濱より夏期は遊覧船が出て、容易に外海の絶景を探ることが出来る。

史蹟 ハシナウシノ「チャシ」

昭和五年十二月十九日
北海道廳告示第一七七〇號ニ依リ假指定

所在地

室蘭市繪柄町

指定區域

室蘭市繪柄町字ハシナウシ國有未開地一段歩

說明

室蘭停車場の西方約一里ハシナウシ岬角に二個の空壕を穿け其の間を「チャシ」と爲す地勢南より北に向け傾斜し又東西二方に向け傾斜す其廣さ南北約六十間東西は其半とす空壕の南にあるもの長さ約四十間深さ中央に於て四尺八寸北にあるもの長さ約二十間深さ中央に於て三尺六寸なり

假指定の事由

本道に於ける代表的「チャシ」にして壊滅の虞あるに依る

六、羊蹄山及ニセコアンヌプリ

膽振國虻田郡俱知安町、狩太村、眞狩別村、東俱知安村、後志國磯谷郡磯谷村、岩内郡岩内町に跨り、羊蹄山、ニセコ火山群並雷電海岸を含む、約二九三〇〇陌、地方費有林、國有林大部分を含む。

羊蹄山

函館を發して北に噴火灣を森驛に迎へる旅人は忽然として車窓に展開される一幅の繪卷に心を打たれるであらう。此の繪卷こそ實に後志火山彙の縮圖である。東から樽前、有珠、喜茂別羊蹄、ニセコ、目國內と一千米以上の山々が雄を競つて一線上に併立する美しさは言へ様がな、特に十一月初旬山頂に新雪を輝かす頃の眺

は誰しも絶讃を惜しまないであらう。

此の後志火山彙の盟主なる羊蹄山は又北海道の靈峰として古くより精神的にも道民の生活に深い親しみを持たれて居る。別稱「蝦夷富士」が示す端鹿無比の山容は昆布、尻別、喜茂別の諸峰を率い、巍然として後志の大平原を壓し、遙に渡鳥の胸ヶ岳に相呼應して居る。其の典型的な「コニーデ」は高さによる植物の限界を明瞭に示し、然も植物豊富にして、夙に天然記念物の指定を受けて居るのである。

登山口は俱知安、比羅夫兩驛の外に喜茂別及眞狩別より裏登山口が二つある。俱知安驛より山麓登山口までは六軒、是より六軒餘の登山路を経て頂上に達する。比羅夫驛から登山口迄は約三軒餘である。尙定山溪から中山峠を経て喜茂別村に至る定期自動車に依る便は將來有望視

されてゐる。表登山口に當る半月湖は水清く樹影を宿し登山の疲れを慰するに足る佳景に恵まれて居るのみならず、湖畔には登山事務所を兼ねた臨湖亭と云ふのがあつて、簡単に宿泊も出来る。月明の夜針葉樹の影動き湖心に舟を浮べて原始の北海道を偲ぶ客も多い。八合目に至り偃松帯を過ぎて目も綾なる草木帯に入る、六月の候隙亂たる花の褥は漫に登山者の足を踏み迷はせる。

頂上には周圍四軒餘の大噴火口跡がある。頂上からは北東に大雪、十勝の連峰を望み、西は碧北渺茫たる中に積丹半島が突出で、天然の懸橋の如く、南は津軽の海を隔て、遙に奥羽の諸山に及び、其の展望洵に雄大を極め、下界にては到底夢想をだに許さぬものである。登山路には一合目毎に休憩所、五合目には小舎、九合目

ニセコ羊蹄山



には五〇名を收容するに足る俱知安森林事務所の石室がある。登山者の數も頗る多く年々三〇〇名を降らない。尙附近尻別、喜茂別、昆布の諸峰は近時ニセコアンブリと共に冬季スキ一の對象として知らるゝに至つた。

ニセコアンブリ

羊蹄山と對蹠的に位置するニセコアンブリ一帯は函館本線昆布驛から入るのを順路とす、約一〇軒にしてニセコアンブリ川中流に湧出する昆布温泉に至る。途中に於ける羊蹄山を主題とした四季の眺望は中部北海道の特色を鮮に描き出して遺憾なく、特に秋季山麓一帯の多彩な秋色の美しさは繪にも筆にも及び難い。昆布温泉は硫黄質純泉の外に鐵類泉もあつて、四時湯治客を絶たぬが、殊に十二月スキーシ

ズンに入つてからは、附近の好スロープに集まるスキーヤーの根據地として超満員の雑沓を呈する。

昆布温泉の北東、標高五六百メートルの峠を隔て、溪底にニセコ温泉がある。此の溪を隔て、全山硫黄の塊に等しい大小兩イワヌブリが峨々たる山骨をハヒマツに飾つて聳へ立ち、其の山腹から迸り出る「湯の川」が温泉の泉源をなして居る。イワヌブリの向ひ、温泉の南東に愕鉢を伏せた様な容の笹山がある、これがニセコアンヌブリである。

イワヌブリの西に續くコニーデがニトヌブリ、更に其の西方遙に續き、ニセコアンヌブリに似たる山がチセヌブリである。以上三座の外イワヌブリの東北に方つてワイスホルン、チセヌブリの西にシヤクナゲ山が聳へて居る。

し、冬と夏の割合が六對四を示して居る事實を以つてもニセコアンヌブルが東洋の「サンモリッツ」と贊へられる所以が窺ひ知られるのである。

此の方面一帯は函館本線倶知安、比羅夫、狩太、昆布、蘭越の各驛より國道又は里道により連絡して居る。ニセコアンヌブリ方面は昆布驛より昆布温泉を経て行くのが普通で、昆布温泉迄約十軒は乗合自動車がある。昆布温泉の北東約五軒にニセコ温泉がある。又ニセコ温泉は倶知安驛より約一六軒、自動車、馬車の便がある。倶知安より山田温泉を経てニセコアンヌブリに至るスキーコースも面白い。狩太驛からニセコアンヌブリに至るには林道を利用し約一〇軒ある。ニセコ温泉より地方費林道により西約四軒にして湯本温泉に至る。更に西四軒、新見

以上の如くスキーにハイキングに好適な平易な山々が、鐵道沿線に近く温泉を中心に肩を接して連つて居ることは、ニセコアンヌブリの持つ魅力の一つである、加之ニトヌブリの背に大沼の明鏡があり、ヌセヌブリの懷に長沼を抱くのみならず、其の背後にはフサスギナで有名な大谷地或は神仙沼等の濕原を有し、其の他千歳沼、狐狗狸湖等清澄幽邃の湖水多く、多彩な風光と大規模にして且變化に富む地貌とは遊子をして飽かしめない。

又チセヌブリの山麓には大沼が沸騰して湯本温泉となり、更に其の西四軒餘にして新見温泉が湧出し、登山やスキーの足溜となつて居る。何れも後志火山彙の所産であつて地質學上にも極めて興味ある問題を提供して居る。

此の一帯の遊覽者は實に一五、〇〇〇人に達

温泉がある。新見温泉から蘭越驛迄約一六軒、自動車の便がある。其の他各山岳、温泉、湖沼等の間には立派な歩道が完成して居つて便利である。

各温泉共旅館があつて宿泊設備を改善し登山、スキー、湯治共に便利である。

雷 電 海 岸

ニセコアンヌブリ連山の西端雷電山の日本海に落ちる一帯の沿岸は、斷崖絶壁約一〇〇米、其の下には奇岩怪石峙ち、豪壯無比の風景をなして居る。古來義經の傳説と共に、普く航海者の間に親まれ「せめて歌棄磯谷迄」の松分追分節にも謳はれて居る。處である義經刀掛岬の奇峭と舟行陸行各一〇〇米の大洞窟とは就中着名である。此の大洞窟内には數千の蝙蝠が棲息し、凄愴の氣人に迫るものがある。尙雷電山中

429
259

腹には旭温泉が湧出して居る。

雷電海岸方面は交通不便で、岩内町より北海
三險の一と稱せらるゝ雷電峠の險を越へ或は岩
内港より舟便によるのである。観光者の數も逐
年増加しつゝある。

此の方面の宿泊の關係は岩内町に於ける旅館
を利用する外ない。雷電山中腹に旭温泉がある
が交通不便である。

(南部)

昭和十七年十月三日北部軍司令部北軍參機第八〇三號檢閱濟
昭和十七年十月六日大湊警備府檢第一六三八號檢閱濟

昭和十七年十二月十五日印刷
昭和十七年十二月二十日發行

編輯兼 五嶋甚之助
發行者 五嶋甚之助

印刷人 中西吉之助
札幌市大通西五丁目一番地

印刷所 中西寫真製版印刷所
〔北札75〕

北海道拓殖部内

發行所 北海道景勝地協會

終

